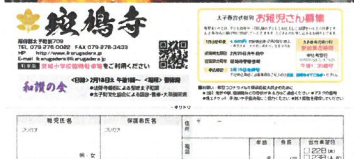


## 3年ぶり春会式開催

聖徳太子の御命日である2月22日と翌23日に、コロナウイルスによって中止になっていた太子春会式が3年ぶりに開催されます。境内には約60の露店が並び、2日間ともお稚児さんも募集しています。また秘佛である丈六佛三尊も3年ぶりに御開帳されます。また23日10時より14回目となる採灯大護摩も厳修されます。是非お越しください。



- ・稚児行列、法要は両日とも14時から行われます。
- ・秘佛の御開帳と併せて、聖徳太子像や宝物館も拝観していただけます。
- ・お稚児さんは地域や宗派は問いません。出仕料はお土産付で4000円、締め切りは2月10日です。お早めにお申込みください。
- ・採灯大護摩では、皆さんに火渡りも体験していただけます。添護摩木も受け付けています。添護摩木(小)は一願200円、(大)は1000円です。



## 太子和讃の会開催



2月18日13時より聖徳殿御本尊、聖徳太子の御宝前にて太子町文化協会の主催による太子和讃の会が開催されます。法隆寺の僧侶方がお越しになります。残念ながら今年は法隆寺管長様はご法務でお越しになられません。そのため法話はありませんが、文化協会による謡曲の披露や、茶会も行われますので、是非お越しください。



## 2月の予定

3日 13:00	節分会・落語会	24日 9:00	春会式片付け
7日 10:30	大般若転読会 (顕彰保存会)	28日 10:00	護摩法要
12日 9:00	境内清掃 (雨天中止)	10日頃～	春彼岸参り開始
16日 10:00	御詠歌練習(聖徳会館)	21日	法隆寺奉獻旅行 (顕彰保存会)
18日 13:00	太子和讃 (太子町文化協会)	22日 14:00	斑鳩寺春彼岸法要始
21日 8:30	春会式準備		
22・23日	太子春会式 採灯護摩		

各行事への皆さんのご参加を宜しくお願い致します。

## 3月の予定

# 開発真心

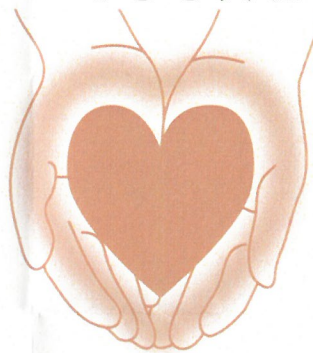
毎年年末に京都、清水寺で今年の漢字が発表されることは皆さんもよくご存じでしょう。令和4年は「戦」でした。コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻など、暗いイメージの「戦」が思い浮かびますが、サッカーワールドカップでの日本の活躍など、明るい「戦」もあった1年でした。

ところで年始に今年の言葉が発表されているのをご存じですか？

比叡山延暦寺では平成25年から今年の言葉を発信しています。令和5年は「開発真心」(かいほつしんしん)です。「真の心を開き発す」という意味です。「真の心」は訓読みすれば「まごころ」になります。真心は嘘偽りのない真実の心のことです。では「真心」とは何か。一言で説明するのは難しい言葉です。しかしその答えは聖徳太子の言葉の中にありました。

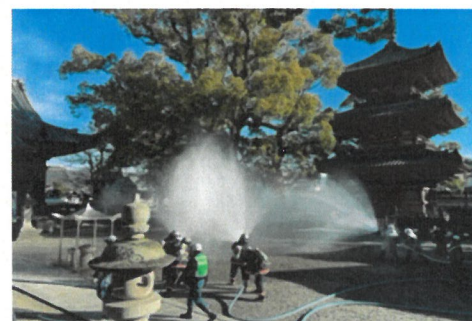
「世間虚仮、唯佛是真」という言葉があります。世の中は虚しく全てが仮の姿であり、唯佛のみが真実であるという意味です。つまり「佛は真」ということです。真心とは、佛さまの心とすることが出来ます。人に接する時に、佛さまならどういふ言葉をかけてあげるだろう、佛さまならどういふ行動をとるだろう、そう考えて行動することで自分の中の真心を開き出すことが出来ます。佛さまの心は全ての人の中に存在していると『涅槃経』の中に説かれています。これを「仏性(ぶつしょう)」といいます。

一人一人が佛さまの心で人に接することで、相手はその真心に触れ、自分の中の仏性に気づくことができます。今年は佛さまの心で人に接することを心がけ、真心を磨く一年にしてください。



## 防火訓練

1月22日に太子消防署、太子町消防団、自衛消防団による防火訓練が行われました。午前9時半から開始され、通報、初期消火、文化財搬出、放水が、約60名の人員で行われました。ご参加の皆様ありがとうございました。



## 仏器磨き

1月29日に檀信徒の方々にご協力いただき仏器磨きをしていただきました。朝早くから来ていただき、午前中をかけて行われました。大変力のいる作業ですが、おかげ様で仏器もきれいになりました。ご参加の皆様ありがとうございました。



## 比叡山大護摩団参

3月13日に行われていた比叡山大護摩が今年から5月に変更になりました。今年は5月20、21日の2日間行われ、斑鳩寺では21日を予定しています。時期が来ましたらご案内しますのでご参加ください。なお添護摩木は一願1000円と変更になりました。

## 月参りお休み

2月は行事が多いため月参りはお休みさせていただきます。ご了承ください。

## お手伝いのお願い

檀信徒の方で、お寺の行事でお手伝い頂ける方を探しています。ご協力のほど宜しくお願い致します。

皆さんからのご質問を集めてQ&Aのコーナーを作りたいと考えています。簡単な質問から難しい質問、今さら聞きにくい事など、なんでも結構です。お寺に直接伝えていただくか、メール・FAXで募集しますので、なんでも気軽に聞いてください。電話でのご質問はご遠慮ください。

次の「和」発行は3月の予定です。お楽しみに。

